前期との変容を中心にかいています

１．全体を通して

保護者アンケートでは、約半数の項目で「よく出来ている」「大体出来ている」の数値が増加している。残りの半数の項目ではほとんど変化がない。

児童アンケートでは、1項目で「よく出来ている」「大体出来ている」の数値が増加している。残りの項目ではほとんど変化がない。

教職員アンケートでは、3項目で「よく出来ている」「大体出来ている」の数値が増加し、1項目で「あまり出来ていない」「出来ていない」が増加している。また、2項目で「よく出来ている」「大体出来ている」のどちらかと、「あまり出来ていない」「出来ていない」のどちらかが増加している。

２．保護者アンケートより

2−1学習に関して

保護者アンケート（1）（3）（4）は大幅に「よく出来ている」「大体出来ている」が増えている。

（1）「家庭学習におけるノートやドリルの使い方が身についている」

（3）「子どもは、自分の考えを伝え、人の話を聞くことができる」

（4）「子どもは、家庭学習に進んで取り組んでいる」

学校での日々の学習の取り組みと、ご家庭で宿題等学習を見て頂いていることなどが相乗的に成果に表れていると、感じられているようである。

2−2美化活動に関して

保護者アンケート（15）は大幅に「よく出来ている」「大体出来ている」が増えている。

（15）「子どもは、美化活動や整理整頓・そうじを進んですることができる。

前期のアンケート結果では、教職員・児童アンケートとかなりの乖離があったが、大幅に改善させている。学校での取り組みがおうちでも感じられるようになってきた結果だと考えられる。

【次年度へ向けて】

前期より大幅な良い方向への数値の変化が見られました。来年度以降も、学校で行っている取り組みの成果が、お子さんの様子からご家庭でも感じられるように、保護者の皆さんと連絡を密に取りながら、同じ方向を向いて取り組んでいけたらと思います。今後ともよろしくお願いします。

３．教職員アンケートより

3−1 学習に関して

教職員アンケート（2）は「よく出来ている」が11%増えている反面、「あまり出来ていない」が5%増えている。

教職員アンケート（4）は「大体出来ている」が16%減り、「あまり出来ていない」が11%増え、「出来ていない」が6%増えている。

（2）児童は、基礎的・基本的な知識・技能を習得している。

（4）児童は、家庭学習に主体的に取り組んでいる。

前期に比べて、学習が難しくなることにより、基本的な知識・技能の習得が難しくなっている様子が伺える。また、家庭学習については、だんだんと慣れてくることにより、「出来ている」児童の割合が減ってきている。保護者アンケートの推移とは反対の結果になっているが、割合の数値は近づいている。

【次年度へ向けて】

今までも普段の授業で、基礎的・基本的な知識・技能を習得することを大切にすすめてきましたが、今度とも一人一人の学習状況を丁寧にみとっていきたいと思います。また、個に応じた学習の時間の確保、学校での学習と家庭学習の連動・定着化を丁寧に行っていきたいと思います。

【学校運営協議会理事会評価】

・5年生の「おもちつき」や3年生の「ねぎパーティー」で保護者の方にお手伝いをして頂きました。保護者の方は、普段は見ることのできない子どもの様子を見ることができたり、保護者の方と地域の方の交流の場になったりした。とてもよい取り組みだと思うので、今後も続けていったほしい。また、ほかの行事にも広げていってはどうだろうか。

・旧千本通での、事故が起きている。また、事故には至らなくても危険な運転をみかける。今後とも、行政・地域・PTAで協力して児童の安全を見守っていきたい。また、学校でも、変わらずに児童の安全な登下校、自転車の乗り方を指導してほしい。

・公共の場である公園でマナーを守って遊んだり、登下校のマナーを守ったりするなど、学校で学んだことを地域で実践できるようになっていってほしい。

・学校だけに全てを任せるのではなく、保護者と地域と学校と協力しながら、子どもを育てていけるとよい。

・大切な取り組みを一つ一つ丁寧に6年間を通して進めていってほしい。